

2025 来日メンバー（モーツァルト組）



歌の翼に乗って天使たちが舞い降りる！  
音楽の都・ウィーンが誇る少年合唱団の最高峰  
世界中の人々を癒す「天使の歌声」



この季節になると、やっぱり聴きたくなる！2025年初夏も彼らがやってきます！

世界各地でコンサートを開催しながら、毎週日曜にあるウィーンでのミサも欠かすことなく歌い続け、ウィーン国立歌劇場やザルツブルク音楽祭にも度々出演し、さらには日本を含めた各国のメディア、CM等に登場…これほどまでに活動の幅の広い音楽団体は他にありません。しかし、そんな多忙を極める中にありながらいつだって美しく澄んだ歌声を聴かせ、そして愛くるしい笑顔を見せてくれるのが「天使の歌声」ウィーン少年合唱団。そんな彼らが今回用意したのは「ワルツ王」ヨハン・シュトラウスⅡ世の生誕200周年を祝う、ずばり「シュトラウス・フォー・エバー！」。共に楽都ウィーンを象徴する存在であるからこそその音楽が、期待できます。

10歳から14歳の約100名のメンバーは全員アウガルテン宮殿での全寮制で生活しており、ハイドン、モーツァルト、シューベルト、ブルックナーという合唱団にゆかりのある作曲家の名がついた4つのグループに分かれて活動。2025年に来日するのはモーツァルト組。そしてそれを束ねる初来日のカペルマイスターのマヌエル・フーバーにも注目です。

世界中の人々を癒す「天使の歌声」を心行くまでご堪能ください。

WIENER SÄNGERKNABEN

